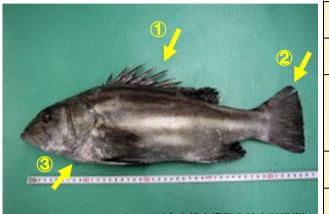
# ▲イシナギの肝臓を▲

消費者に販売・提供しないでください

#### ≪ビタミンA過剰症≫を引き起こす恐れあり

#### イシナギ/オオクチイシナギ [スズキ科]

<u>肝臓を</u> 除去したものは



(東京都市場衛生検査所提供)

- ①背びれの棘部と軟条部との境は深く切れ込んでいる。
- ②尾びれの縁が直線的
- ③エラ蓋下部に棘がない

体色	全体的に灰褐色			
体長	最大2m <u>販売可</u>			
分布	北海道から南日本の水深400~500mの岩礁 域に分布する。特に北海道に多い。産卵期には、 水深150m程度まで上がってくる。			
有害部位	肝臓			
有害成分	ビタミンA (過剰摂取の場合)			
主な症状	食後30分から12時間で激しい頭痛、発熱、吐き 気、嘔吐、顔面の浮腫がみられ、下痢、腹痛を伴 うこともあります。2日目ごろから顔面や頭部の皮 膚の剥離が始まります。回復には20~30日を要 します。			



ビタミンAは、人間にとって必要不可欠な栄養素ですが、脂溶性(油に溶けやすい)であるため、体内に蓄積しやすく、過剰摂取による健康被害を引き起こす恐れがあります(ビタミンA過剰症)。イシナギの肝臓中には多量のビタミンAが含まれており、少量(5~IOg程度)を食べるだけでも人体に害が生じます。

#### ≪イシナギの肝臓による食中毒の予防策≫

魚介類販売業(卸売業)の方は、

イシナギの肝臓を取り除いてから消費者に販売・提供するよう 注意喚起してください!



イシナギの肝臓を取り除いてから 消費者に販売・提供してください!

昭和35年厚生省通知(公環発第25号)により販売が禁止されています。 販売・提供した場合、食品衛生法第6条第2号に違反します。



## 有毒・有害となる魚介類

### ツブ貝(アヤボラ、ヒメエゾボラ、エゾボラモドキなど)

有害部位	唾液腺	毒素	テトラミン
主な症状	食後30分~1時間程度で、めまい、物が二重 に見えるなどの酩酊状態や頭痛など		
テトラミンの 特徴	・熱に強く、加熱しても毒性が消失することはありません。 ・水溶性のため、唾液腺を取り除かずに加熱 調理すると煮汁などに一部移行します。		
予防策	・ <mark>殻付ツブ貝を調に除去すること。</mark> ・唾液腺を除去した ミンが移行すること ることは避けること	た場合でも ごもあるたる	、筋肉部にテトラ



(東京海洋大学海洋科学部食品生産科学科	三 白 炒 一 粉 短 担 母 \
(果果洲注入子洲注科子部总品生库科子科	反后的

(果尔海洋人子海洋科子部及加土库科子科 女局桁二教技提供					
食中毒の原因となる 主な魚介類	原因物質	主な症状			
※ 二枚貝 (ムラサキイガイ、	麻痺性貝毒	食後30分程度で麻痺を呈し、次第に全身に広が る。呼吸麻痺により死に至ることも。			
ホタテガイなど) <u>有害部位:中腸腺</u>	下痢性貝毒	食後30分から4時間以内で発症。下痢、嘔吐、腹 痛など。回復は早く通常は3日以内に回復する。			
<ul><li>※ フグ類</li><li>有毒部位:フグの種類により</li><li>異なる</li></ul>	フグ毒 (テトロドトキシン)	食後20分~3時間程度で発症。しびれや麻痺症状が現れる。血圧低下、呼吸困難により死に至ることも。			
オニカマス、バラハタ、バラフエダイなど オニカマス(東京都市場衛生検査所提供)	シガテラ毒	神経系:ドライアイスセンセーション(温度感覚の異常)、かゆみ、四肢の痛みなど 消化器系:下痢、嘔吐、腹痛、悪心など 循環器系:不整脈、血圧低下、徐脈など			
アオブダイ (東京都市場衛生検査所提供)	パリトキシン様毒	潜伏時間は12時間~24時間。横紋筋の融解に由来する激しい筋肉痛(横紋筋融解症)、黒褐色の排尿(ミオグロビン尿症)、呼吸困難、歩行困難など。重篤な場合には死亡する場合もある。			
バラムツ、アブラソコムツ	ワックスエステル	下痢 アブラソコムツ (東京都市場衛生検査所提供)			
ホシゴマシズ、ゴマシズ	油脂	下痢			

赤字は販売禁止・青字は販売自粛

※有害・有毒部位以外は食用です。



食用と確実に判断できない魚介類は、 食べない!売らない!人にあげない!